

あったんですね。又、お土産をもって行くのがあたり前だと思っている国もあるし、又、お土産の程度も金持ちの国あたりでは莫大なお土産をもって行ったという事も考えられる訳です。

そういう事は、恐らく今までの各会長もそうした事に困惑をおぼえておったから解らないし、それを、あから様に出来なかったのは、やはりそれなりの考えはあったんだろうと思いますけれども、レーシーさんは、ハッキリお土産はもってこないでくれという事を文書で書いて出したという事には、私は非常に勇気を感じました。

このたびの私のロータリーの考え方に多少変更したいというのは、私は実は、このレーシーさんのお気持ちを汲んで、ロータリーといえども今までの長い歴史の中では、必ず不要な虚礼とか、あるいは、いろんな形の無意味な弊害とかいうふうな事がある事によって、非常にムダな事が多く出来ていたのではないかという事を、クラブの長短とか、あるいはクラブの人数の大小にかかわらず、もう一遍足元も見つめてクラブのあり方を皆で研究し、そして、よりよいロータリークラブになるようにしてほしいという事が私の願いでありましたので、私はレーシーさんの気持ちこのものを、私の一年間の方針としてやっていきたいと思っております。そして、3つ目の思いやりという事は、先程申し上げました3つの事は、すべて子供達の事の為に頭をついやしてらっしゃる、要するに21世紀を見すえた子供達少年達の幸せの為に、この3つをどうか、力になってほしいというふうな事をレーシーさんはおっしゃった訳でございますので、私はこの非常に謙虚な人である、勇気のある人であるという事、それから思いやりのある人であるということ、たまたま思いやりという事は、私自身が60過ぎてから、良寛様という方に魅かれて、良寛様という人にはとてもなれそうにはないけれども、せめて良寛様に何か近いものに、何かお手本になるものになるものがないだろうかという気持ちで、良寛様の本を読んだり、又、いろんな会合に出たりして、研究どころか、良寛様の事を聞かせて頂いて、年取ってからでも良いから、より近くなりたいという気持ちをもっているという事だけは間違いないのであります。

この三条の地区は、良寛様とは非常に縁の深い処であるし、又、本を読む範囲においても良寛の道とか、そういうふうな点から見ても、いづれ又、三条の地へまいりました時に神社やお寺のそういう良寛様の跡をめぐるって見たいなあという気持ちにはもっております。

レーシー会長が思った事で、私共がすぐ直接やれる事、一番手近な問題はやはり財団と、米山に対する奉仕だと思います。実は2560地区というのは、各クラブ共、アメリカのフリートーカーキングの中で聞いておりまして、2560地区というのは、いろんな各クラブがそれぞれ独特な国際奉仕、社会奉仕それから、職業奉仕というような形で、幾つか非常にバラエティーにとんだやり方をしている訳です。特に国際奉仕のやり方などは、私達が解らないような事でも各クラブが研究して、いろんな事をやっているのが良く解りまして、2560地区というのは、他の34地区の中では中の上位に位置する地区であるという事を、感じまして、私は実は、アメリカにいる間、非常に内心誇りに思っ

て講習を受けていたという事がございます。そういう事でございますので、今の財団と同時に、米山に関しましては、実は、米山では講習の中で、米山奨学会という名前は、初めの内1つも出て来なかったのです。これは私共34の日本人のガバナーノミニーは、リーダーに質問した訳です。なぜ世界で非常に大きな国際貢献している米山奨学会というものが、この協議会に一つも言葉が出てこないのはどういう事なのかというふうな事を質問した訳です。そうしましたら、実はリーダーの方は、それを待っていたとばかりに、次のようにおっしゃった訳です。実は世界には、イギリスで、フランスでも、この米山奨学会みたいなものはあるのでそれを全部取り上げる訳にはいかないのです、この米山奨学会というのは出さないけれども、米山奨学会の金額の大きさと貢献する度合いというのは、世界の中で桁外れている貢献度の大きいものである。これはレーシー会長も深く敬意を表し、又、感謝をしているという事なので、私共から改めて日本のノミニーに話して今後共それを続けて下さるよう話して下さいという事で私共も納得してこれからも続けるという事を話し合っ

石川勝行君 富山ガバナー本日はよろしくご指導お願い申し上げます。
洲岡茂君 富山ガバナー、平野分区代理御指導の程宜しく願いいたします。
西村護君 富山ガバナー三条へようこそおいで下さいましてありがとうございます。ご指導よろしくおねがい致します。

堀川正幸君 ガバナー訪問ありがとうございます。よろしくご指導お願い致します。
吉川吉彦君 富山ガバナー、平野分区代理様をお迎えして歓迎申し上げます。
山上茂夫君 世界大会以来の再会を喜び本日の富山ガバナーの御指導をよろしくお願い致します。

久保博君 歓迎、富山ガバナー御指導よろしく願致します。
佐藤義英君 ガバナー公式訪問を記念して!!
長谷川恵慈君 富山ガバナー、平野分区代理本日は御苦劳様です。よろしく御指導をお願い致します。

芦田義重君 富山ガバナー公式訪問ごくろうさまです。北クラブを御指導宜しくお願い致します。

梨本清一君 富山ガバナーの公式訪問に謝意をこめて。
山中正君 本日の公式訪問にあたり
坂内康男君 富山ガバナー公式訪問大変ごくろう様です。よろしくご指導願致します。

斉藤正君 “
木宮隆君 富山ガバナー、平野分区代理公式訪問大変ご苦劳様です。本日はご指導の程宜しくお願い申し上げます。

本間建雄美君 富山ガバナー公式訪問を記念して。
早川瀧雄君 富山ガバナー公式訪問を記念して
大野新吉君 富山ガバナー、平野分区代理を歓迎して
外山晴一君 富山ガバナー歓迎します。先週アークランドサカモトさんの会でハワイに連れて

いっていただきドルが余りました。
ロータリー財団ボックス：
柄沢憲司君 社長就任を記念して株式会社柄長より
落合益夫君 ガバナー公式訪問を記念して
梨木建夫君 “
山中正君 本日のガバナー公式訪問に当たり

米山奨学会：
梨本清一君 公式訪問の記念すべき日に寄金出来ることは幸せです。米山ファンドフェロー60口分

落合益夫君
梨木建夫君
吉川吉彦君 富山ガバナー、平野分区代理を歓迎して
米山忠俊君 富山ガバナーを歓迎し、本日は宜ろしくお願い致します。
芦田義重君 富山富一ガバナー公式訪問ごくろうさまです。北クラブを御指導宜しくお願い致します

羽賀一夫君 ガバナー、分区代理歓迎致します
山崎勲君 “
山中正君 ガバナー公式訪問に当りご指導の程宜しくお願い申し上げます
長谷川博一君 富山富一ガバナーを歓迎いたします。
布川和雄君 ガバナー、分区代理の公式訪問を歓迎申し上げます。

山上茂夫君 富山ガバナーとはインディアナポリスの世界大会で御一緒でしたので……。
今井克義君 箱が目の前にあれば……。

講 話： 富山富一ガバナー



皆様こんにちは、今日は三条北ロータリークラブに公式訪問という事でお訪ねさせて頂きまして大変嬉しく存じております。ありがとうございます。又、先ほどは、外山と呼んで頂きましたが、これは三条には、軍隊仲間で、外山というのがおります。そんな関係で三条は、外山という名前がなじんでいるんじゃないかと思しますので別に名前を間違われても、心やに思いませんでしたので、どうかご懸念なく一つ宜しくお願い致します。それから又、私がこうして公式訪問した事で、皆様から沢山の財団・米山・そしてニコニコボックスというふうなご協力を頂きまして、ガバナーとしては大変なによりも嬉しい事でございます。大変厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

た。

え～、実は私、ご承知のように7月1日からガバナーとして公式訪問を始めまして、現在約44クラブを廻っておりますが、3月6日にハナハイムという処へまいりまして、7泊8日の間、アメリカ人のあの肉食の人達の若い人達が作ったマニュアルでもって7泊8日みっちり研修を受けてまいりまして、かなりハードな仕事でしたけれども無事終らして頂きました。そして日本へ帰って7月1日から勤めている訳でございます。その時に初めて私は、ジェーム・L・レーシー会長という方にお会いし、8日間一緒におりまして非常に感銘を深く致しました。この人の何と申しますか、控え目な性格であり、それから非常に勇気のある人である。そして又、大変思いやりのある人であるというふうな事を感じました。ここにあの山上様もインディアナポリスへご一緒した訳でございますから、まあそういう様子もお解りだと思いますけれども、私は特に私なりに感じた事を申し上げたいと思いますし、その時に私は、このレーシーさんの気持ちというものを帰ったら96クラブの皆様にも真実をそのままお伝えしたいなあと思ひまして、そのまず一つの思ひつきとして、こちらにあります、この「フォローユアロータリードリーム」というテーマを96クラブの為に一つずつ買ってまいりましたので、これを各クラブに一年間飾って頂きたいという事を思ひまして、先般差し上げた訳でございます。

それからもう一つ、これはこんど余計な事になるんですけども、あの私が実は先ほどご紹介頂きましたように、幾つかのつまらんあれですけども「本」を書いた訳でございますが、その中で「ジョギングは55歳からでもおそくない」という本を一つ日報の掲載を元にして書いた訳でございますけれども、この時にはあの日報のお世辞のいい担当記者が、出版にあたりまして「富山さんこの本は売れますよ」とこういつてくれるものですから、私はその気になりまして、素人ですからこれはもしかしたらベストセラーになるんじゃないかな、100万部位売れるんじゃないかこう思ひまして、まあ作った訳でございます。実際はそうは行きませんで、2,000部作りましたら1,550部だけ、まあ献定も含めて消化できましたけれども、あと450部残ったものですから、これは折角、表紙にも大変私の良い写真が載っていましたから、これをそのまま紙クズにするのもったいないなと思ひまして考えた末、ペッツの時に会長さんがいらした時に96冊だけ無理矢理もらってまいりました。これは会長さんもお存じだと思います。それからまだ残り350冊あるものですから、これも何とか消化したいなと思ひまして、これは考えた結果、これから96の公式訪問するにあたっては、そのクラブに3冊ずつもし、読んで頂けるならばという事で、これは、平野分区代理さんをお願いしました。各クラブ3冊ずつ読んで頂けるならばという事で差し上げてあるはずでございます。もし読んで頂けるならば、私も大変幸せなことでございます。それはなぜかと申しますと、私もこうして今、78になって健康でありますのも、私なりに55から初めたジョギングのせいだというふうに思っ

ております。

ジョギングする55の時には、実は20才の時の徴兵検査で私が、第一・乙だったもんですから、甲種の連中に負けたくないという事で、東京で勤めていた住友銀行の寮の周囲を1.5Kずつ3ヶ月走って軍隊に入ったおかげで、甲種の連中に負けなくて戦地で7年間過してまいったという経験もございまして、35年ぶりで走り始めたものですから、その事の中で、これからの高齢化社会という時代になりますと私共、皆様はまだお若い55、50歳前後の方もいらっしゃると思いますけれども、いずれ歳を取った場合に、歳を取ってから寝た切りになっては、私は残念だと思います。そういう意味では、何かご自分であったものを、例えゴルフでも、ジョギングでも、歩く事でも、ラジオ体操でも、太極拳でも、真向法でも、あるいはヨガでも、何んでも良いと思うんですけれども、テニスもピンポンもありますけどご自分の何んでも良いものを一つだけ、健康の為に、合うものを選んで3、4ヶ月我慢しておやりになりますと、必ずクセになります。そして、クセになってしまうとあとは、もう体が催促するというふうな形になりますから、その3、4ヶ月タバコをやめるという事も大事でしょうけれども、3、4ヶ月我慢して少し、習慣になる迄、頑張って頂く事によって、これから70、80、90の高齢化社会に健康で居られるんじゃないかと思ったもんですから、もしその本を読んでどこか参考になればと思ひてもってきたものですからこの方も宜しくお願い致します。

余計な事が先になりましたけれども、先ほど申し上げましたレーシーさんという方は、非常に謙虚な方であるという、その一つは、テーマの「フォローユアロータリードリーム」というロータリーの夢を追い続けようという言葉を発表されました時に、この方はこういう事をおっしゃった、「私は、会長として改めて皆様に私の考えで、これをやってくれというふうな新しいテーマはない。フォローユアロータリードリームというテーマは提唱するが、仕事の面では新しい事を皆さんにおすすめる事はありません。ただ私は、今までの各会長が一生懸命発表し、やられて成功を収めているいくつかの中で、これをなるべく夢に近づける為に次の3つを私は考えております。」という事なんです。その一つは、ポリオの撲滅、小児マヒの撲滅ですね、これはすでに前の会長がテーマを発表した時に、非常に反響を呼びまして、多くのワクチンのお金が集まりました。その時にこの会長は、これは大成功であると発表した為にすでにポリオが撲滅されたというふうに感じた世界の方が多かった訳ですね。実は私もそう感じてもうポリオは世界からなくなったと思っていました。これはそうじゃなくて、ポリオのワクチンを集めるお金の大成功だったという事で、ポリオはまだアフリカにもインドにも残っている訳でございます。これの為に撲滅を私は皆様に一つお願いしたい事です。2つ目は、去年からもありました「寺小屋運動」という中で、子供達は字が解らない為、あるいは、計算能力がない為に就職できない事が多いから、そういう意味では識字率の向上という事も含めてほしいというふうに、これが2つ目のことです。3つ目は、家のない子供、ホームレスの子供は世界に沢山いる訳だから、この子供達の為に、例えバラックでも家を作ってあげたいといこの3つの事は、これからの私の願いとして、夢を実現に近づける為に、この3つを皆さんから、お力添いを頂きたいというふうな事をおっしゃった訳でございます。それをご自分の事を主張しないで、今までの皆さんの会長さんがやってきた事を一つずつ実現する方向にご協力願いたいという謙虚な心に、私は非常に印象に残ったという事です。それから2つ目の「勇気がある」という事です。これは私共が、アメリカへ3月行く前に、12月にお手紙を頂きました。「皆様がアメリカへいらっしゃる時には、私共夫婦にお土産をもって来て下さらないで下さい。お土産をもって来て下さるような事がもしあるならば、社会のニーズに応じて下さい。」といういい方をされた訳でございます。このことについては、私は、表面だけではなくて、これを読んだ時に、非常に深い衝撃を受けた訳でございます。

お土産をもってこないで、その分あったらニーズに応じてくれ、社会に奉仕してくれ、これは今までの国際ロータリーの会長の処へ、ガバナーの勉強に行く時には、お土産をもって行く国が結構